



SDGsに向けた建築家の役割 〈2030年への取り組み〉への意志表明

JIAは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)
2021年6月25日

私たち日本建築家協会 (JIA) の会員は、SDGs (持続可能な開発目標) 達成に向けて、2030年までの時間の中で建築が寄与するための取り組みを考え、設計活動に携わる者として必要とされる行動を確実に進めてまいります。

「建築家の役割」、「日本建築家協会の役割」、「世界に向けて、未来に向けて」の3つの構成で意志表明をいたします。

1. 建築家の役割

建築家は、クライアントやユーザーなどすべての関係者と協力しながら、SDGsがめざす誰一人取り残されない世界の実現に努め、とくに「つくる責任」を自覚して行動いたします。

建築家は、合理的で快適な美しい建築やまちづくりをめざしてきました。

建築家はいま、材料選択から建設労働環境、エネルギー使用、運用管理、そして廃棄に至るまで、さまざまな弊害を回避しながら、ひろく脱炭素社会や循環型社会の実現をめざす行動を、建築家の重要な役割と捉え実行に移します。

2. 公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) の役割

日本建築家協会 (JIA) は、建築家の専門設計者団体として、環境・災害対策・保存再生・まちづくりなど、社会にとって重要な課題に取り組んできました。

SDGs目標の達成に向けて循環型環境社会実現への取り組み、新型コロナウイルスによるパンデミックの大きな要因と言われる集中型社会の弊害の改善などについて、建築家が貢献できるように会員を多面的に啓発いたします。

そして会員の地域や職域において、SDGs実現をめざす活動やリーダーシップを応援し、活動しやすいプラットフォームを提供いたします。

さらに建築やまちの質を維持向上するため、法整備や仕組みづくりに向けた発信など、建築界全体の動きを率先して牽引いたします。

3. 世界に向けて、未来に向けて

私たち建築家および日本建築家協会は、専門的知識と経験を社会に役立てて、SDGs実現に向けて絶えず注力してまいります。そのために、国内のみならず地球上のさまざまな分野の人々や組織と、連携・協働し、世代を超えてこの志を繋いでいくことに努めます。